

授業力を磨く 後期セミナーがスタート

小P1 P3 対象
授生P2 対象

セミナー通信

—教育実習総合センター—

外部講師招聘講義&公立小学校 自主研究発表校訪問を企画

第1回セミナー(理科指導)
第1回目のGTは、小野市教育委員会藤原正伸先生。指導主事の藤原正伸先生。「おもしろ理科教室」「理科好きの子どもの育成」「小中連携理科教育」「サイエンスショー」など、得意ジャンルがいっぱい。当日はプレゼンを駆使しながら、新任教師に必要な理科実験の数々や、楽しい授業秘話等について惜しみなく披露していただけること。質疑時間あり。期待して参加ください。



(会場) 5F セミナー室

第2回セミナー(国語指導)
第2回目は、学習指導要領の改訂で重視されている国語指導のスペシャリスト、高松朋子先生。加古川市立小学校を退職後、市内の小中学校国語科研究会講師として、また図書アドバイザー、人権擁護委員として大活躍。当日は、「説明的文章の授業づくり」をテーマ



「今でしょ」
第5回セミナーは、小P1 P2 生及び授業・生指コースP1生の参加も可能です。プロ教師の自主研究発表会が体感できる好機です。

そこで、来年度教壇に立つ院生(小コースP3生、授業実践・生徒指導コース)は、無難なことに、実地研究中小P2生や、3コースのP1生の参加も了解いただいておりますので、授業力も学ぶ好機として参加して欲しいと願っています。

希望者は、10月25日(金)までに教育実習総合センターまで(服部)申し込んでください。貸切バスによる送迎を検討しています。学費は無料です。「脳科学と教育」の学びもできます。

(研究主題) PISA型読解力を育む 学びの創造
好評につき、本年度も小野市立大の小学校の学校訪問を企画しました。

11/8(金)



地866番地、早くから全小生で算盤学習(算盤)の活動(1年次)が実施されている。放課後は、英語サロンが設置されている。実践されています。また、基礎学力の定着を図るため、「おの検定」(漢字検定・計算検定・英語検定)や「小中連携教育」を先導的に展開し、早くから教育関係者にその成果が注目され、県内外から視察が絶えない学校です。

10/18(金)
第2回目は、学習指導要領の改訂で重視されている国語指導のスペシャリスト、高松朋子先生。加古川市立小学校を退職後、市内の小中学校国語科研究会講師として、また図書アドバイザー、人権擁護委員として大活躍。当日は、「説明的文章の授業づくり」をテーマ

のネイティブな放送が流れ、放課後は「おの検定」(漢字検定・計算検定・英語検定)や「小中連携教育」を先導的に展開し、早くから教育関係者にその成果が注目され、県内外から視察が絶えない学校です。

今年度は「PISA型読解力を育む学びの創造」(副題)をテーマとして、自主研究発表会(国語科)を開催されます(下段につづく)

P1生「論文添削指導」担当者
(田中コーディネータ)
多田一平・中村優之・油井文典・岩本和樹・上野直也・平山春樹・上田勇樹・鈴木翔太・(授業) 山根久実
(服部コーディネータ)
小林直弥・森高大樹・橋高晃大・伊藤正剛・北田瑛和・毛笠祐々・松岡太嗣・(生指) 田中祥平
(大林コーディネータ)
奥田明・橋本篤・伊藤友希・中田智子・尾花竜輔・北脇彰人・尾山遼・木原和美・(生指) 石原麗子
(森コーディネータ)
高木富也・坂本真理子・有馬佑輔・清友祥太・榎芳徳・井藤由佳・川端莉世・田淵陽・(授業) 三島裕来
(船越コーディネータ)
浅野春佳・本岡良太・城智律・田中百合杏・今井雅・重岡知宏・江口奈緒・山本嘉紀・(授業) 中村之大
※小コース39人・授業実践3人・生徒指導2人

全P1対象
後期セミナーは10月16日からスタートです。論文指導、指導を受け、教育課題に挑戦です。
11/11(月) 実地研究事前指導
11/18(月)~12/12(木) 実地研究I
12/16(月)~2/20(木) 実地研究II
先輩からのメッセージ 2/28(金)

小P2対象
実地研究1・2が、平成25年11月18日、26年2月20日まで行われるため、この期間の教育相談は、毎金曜日4限に設けています。

[当日の日程]
12:30 受付
13:00 パチパチタイム (そろばん)
13:15 公開授業 (特支含む15学級)
14:00 (移動)
14:15 児童発表
14:30 全体会 (研究概要発表)
15:00 講演 (講師:京都女子大学教授 京都女子大附属小学校長 吉永 幸司 先生)
16:30 閉会
※本大学から車で約25分

◆前期セミナーのアンケート
後期セミナーが始まることを受けて、院生さんからの前期アンケートを実施します。後期セミナーの初日、または10月中

(東京都受験 小コースP3生の記録より)
—我が受験対策を紹介—
3月 週1日、仲間と空き時間を利用して集団面接、集団討議を積極的に実施する。
4月 週1日、教育実習総合センター及びキャリアセンターに向き、面接指導や場面指導について指導を受ける。
6月 週3日、教育実習総合センター及びキャリアセンターで個人指導を受ける。
7月 単独で苦手意識のあったロールプレーや場面指導を練習。また、ボイスレコーダーやビデオ撮りを駆使し、何度も自分の癖を修正する。
※「自分らしく」をキーワードに計画的に実践できた。

◆教授受験後の記録メモ
(兵庫県受験 小コースP2生の記録より)
① 1次試験 (一般教養択一式80分、小学校全科記述式90分)
出題内容が大きく変更。大問は5題から6題、マークが50題から70題(教職教養15題、一般教養55題)に。「いじめ」の定義、「体罰」に関する法規、「第2期教育振興基本計画」の他、最新の時事教育課題が多く出題される。
② 2次集団面接 (20分)
周りに臨探者が多く、圧倒されて積極性に欠けてしまった。自分の学校支援ボランティアの経験を語れば良かったと反省する。
③ 2次個人面接 (模擬授業10分を含む35分)
「確かな学力」「学級経営方針」「生徒指導」「教員の資質能力」「志望動機」など、論文指導で受けたテーマを多く聞かれる。模擬授業の前に教科書の見開き1頁のコピーが配布され、構想時間が3~5分与えられた。授業後、「導入のねらい」「わからない児童への手立て」等について質問される。
※後1年、「教師としての責任ある態度」を追求しながら学びを深めます。

◆編集後記
前期編集委員を務めてくれた小コースP3生の安富悠介さん、石田道秀さん、大田靖子さん。新企画に挑戦し、同志に喫緊課題やホット情報を提供いただきありがとうございます。また、11月号から新たな編集委員による発行となります。そこで意欲のある後期編集委員を募集します。出来れば、全コースの各学年から応募があれば、と期待しています。意志が固まれば、10月11日(金)までに教育実習総合センター(服部)へ連絡ください。



漁業支援活動(牡蠣の養殖に使う土壌作り)

市さんと中山さんと志さんと仲宗根さんと鈴木文彩さんと4人でしました。疲れも見せず帰宅した甲賀さん。まだボランティアの支援が、アの支援が、と話し、菌浦さん「準備が進んでいないと、継続しないうと、必要ない」と、熱く語ってくれました。

今年で3年目の活動に3年連続で参加した小コース2年生は、賀賀拓二さん、藤末名さん、伊藤未名さん、の3人。初参加は、P3生の児島皓



農業支援活動(土の中の瓦礫撤去作業)

◆被災地ボランティアの報告
小コースP2生5人、P3生3人を含む、今年も9月25日、宮城県南三陸町に、宮城県南三陸町にボランティアに参加しました。

旬に代表を通じて用紙を配布します。皆さんの協力をお願いします。(担当の船越先生まで提出)